神奈川県民俗芸能保存協会

令和８年度　　発行日　令和8年9月23日

《民俗芸能情報提供》　１０月～１２月

3ヶ月に1回 会員向けに発行　　団体･個人の入会　随時受付中
神奈川県民俗芸能保存協会事務局
＜協会ウェブサイト＞　https://kanagawa-mzg.jp/
＜民俗芸能情報の受け入れ窓口＞　office@kanagawa-mzg.jp

※詳細につきましては、各問い合わせ先にご確認下さい。
※指定・選択区分記号凡例
（大会等で複数の公演を行う場合は、記号を記載していない場合があります。）
（A）　国指定重要無形民俗文化財　　（B）　国選択無形民俗文化財
（C）　神奈川県指定無形民俗文化財　（D）　神奈川県選択無形民俗文化財
（E）　市町村指定無形民俗文化財、市町村認定無形民俗文化財

月　日	民俗芸能等の名称	場所
10月 3日(土)	**善部妙蓮寺の曲題目**（C）	妙蓮寺（横浜市）
	林神社祭礼　林太鼓保存会	林神社（厚木市）
10月 3日(土) 10月 4日(日)	**小向の獅子舞**（C）	小向会館､八幡大神（川崎市）
	初山の獅子舞（C）	初山会館､菅生神社（川崎市）
10月 4日(日)	**新城の囃子曲持**（E）	新城神社（川崎市）
	江戸上り行列	東海道かわさき宿交流館付近（川崎市）
	第 54 回 茅ヶ崎市郷土芸能大会	茅ヶ崎市民文化会館小ホール（茅ヶ崎市）
	第 54 回 いなりっこ発表会（E）	三浦市民ホール（うらり２階）（三浦市）
10月 6日(火)	**禰宜舞**（E）	土橋神社（川崎市）
10月 10日(土) 10月 11日(日)	**小田原囃子（白山神社祭礼）**（C）	白山神社周辺（小田原市）
	牛込の獅子舞（三頭獅子舞）（C）	牛込神明社、驚神社（横浜市）
10月 11日(日)	**禰宜舞**（E）	梶ヶ谷神明社（川崎市）
	第 49 回 芸能発表会	仙石原文化センター（箱根町）
	太田和上の里 獅子舞､祭囃子	三浦正八幡宮（横須賀市）
	大谷八幡宮例大祭 大谷歌舞伎 **海老名の祭囃子（大谷はやし連）**（E）	大谷八幡宮境内（海老名市）

月　　日	民俗芸能等の名称	場　　所
10月11日(日) 10月12日(月) 祝日	**豊受大神例大祭　海老名の祭囃子（杉久保はやし連）**（E）	豊受大神　(海老名市)
10月12日(月) 祝日	**第35回小田原ちょうちんまつり**	小田原城址公園二の丸広場・本丸広場、小田原市観光交流センターにぎわい広場　(小田原市)
	相模人形芝居 下中座 川崎市立日本民家園公演（A）	川崎市立日本民家園 旧工藤家住宅　(川崎市)
10月12日(月) 祝日～14日(水)	**光明寺十夜法要**	光明寺　(鎌倉市)
10月18日(日)	**第24回 厚木市郷土芸能まつり 「郷土芸能発表会」**（C）（E）	厚木市文化会館(小ホール) (厚木市)
10月23日(金)	**菊名の飴屋踊り**（C）	白山神社、菊名区民会館（旧菊名児童会館）前　(三浦市)
10月25日(日)	**第89回 沖縄芸能大会**（C）	カルッツかわさき　(川崎市)
	第55回 鎌倉郷土芸能大会（E）	鎌倉生涯学習センター（きらら鎌倉）ホール　(鎌倉市)
10月28日(水)	**白旗神社秋祭（湯立神楽）**（E）	白旗神社　(藤沢市)
11月 1日(日)	**第51回 南足柄市市民文化祭** [民俗芸能の発表]	南足柄市文化会館（愛称：金太郎みらいホール）　(南足柄市)
11月 3日(火) 祝日	**室生神社の流鏑馬**（C）	室生神社前馬場　(山北町)
	相模里神楽垣澤社中 厚木市郷土芸能普及公演（E）	相川公民館　(厚木市)
	第73回 箱根大名行列	旧物産館跡地・あじさい橋 ホテル南風荘、天成園他(箱根町)
	入谷歌舞伎公演（E）（F） [市民芸術祭参加事業]	ハーモニーホール座間 大ホール (座間市)
11月 6日(金) 11月 7日(土)	**海南神社面神楽**（E）	海南神社神楽殿　(三浦市)

月　　日	民俗芸能等の名称	場　　所
11月 8日(日)	**法蔵院の十夜法要**	法蔵院　(横須賀市)
	丸山稲荷社火焚祭(鎌倉神楽)（E）	鶴岡八幡宮境内丸山稲荷社 (鎌倉市)
	相模里神楽垣澤社中（E） **厚木市郷土芸能普及公演**	緑ヶ丘公民館　(厚木市)
	相模里神楽垣澤社中（E） **厚木市郷土芸能普及公演**	小鮎公民館　(厚木市)
	小田原民俗芸能保存協会 **後継者育成発表会**	小田原三の丸ホール大ホール (小田原市)
	かながわ伝統文化こども歳時記	神奈川県立青少年センター (横浜市)
11月 14日(土) 11月 15日(日)	**相模人形芝居 下中座** **写真展とワークショップ**（A）	皆春荘　(小田原市)
11月 15日(日)	**第24回 厚木市郷土芸能まつり** **「相模人形芝居特別公演」**（A）	厚木市文化会館(小ホール) (厚木市)
	小向の獅子舞 妙光寺 奉納舞（C）	妙光寺　(川崎市)
	第55回 鎌倉郷土芸能大会 **祭ばやし大会**	鶴岡八幡宮境内源氏池畔 (鎌倉市)
11月 22日(日)	**第37回 横須賀民俗芸能大会**	横須賀市文化会館大ホール (横須賀市)
	第50回 ひらつか民俗芸能まつり （C）（E）	ひらしん平塚文化芸術ホール 大ホール　(平塚市)
11月 23日(月) 祝日	**令和8年度 あやせ文化芸術祭** **市民文化祭 伝統芸術部門**	綾瀬市オーエンス文化会館 大ホール　(綾瀬市)
11月 27日(金)	**相模里神楽垣澤社中**（E）**プラネタリウム公演 「星降る神楽～道開き之章～」―女性神楽師によるプラネタリウム公演―**	神奈川工科大学 厚木市子ども科学館 厚木シティプラザ7階　(厚木市)
	遊行寺一ツ火	時宗総本山清浄光寺（遊行寺） (藤沢市)
12月 5日(土)	**カナガワ　リ・古典プロジェクト** **in 大和**	やまと芸術文化ホール　(大和市)
12月 5日(土) 12月 6日(日)	**第33回 藤野村歌舞伎公演**（E）	県立藤野芸術の家 クリエーションホール(相模原市)
12月 6日(日)	**秋葉山火防祭**（ひぶせまつり）	秋葉山量覚院　(小田原市)

月　　日	民 俗 芸 能 等 の 名 称	場　　所
12 月 13 日(日)	**2026 きらめくふるさと かながわ民俗芸能祭**	はまぎんホールヴィアマーレ (横浜市)
	相模人形芝居 下中座 秋葉山公演 (A)	秋葉山量覚院　(小田原市)
12 月 16 日(水)	**御鎮座記念祭**	鶴岡八幡宮　(鎌倉市)
12 月 17 日(木) 12 月 18 日(金)	**飯泉観音だるま市**	飯泉山勝福寺　(小田原市)
12 月 28 日(月)	**一之宮のだるま市**	高座郡寒川町一之宮 南泉寺前の通り　(寒川町)

〈１０月〉

● 善部妙蓮寺の曲題目（C）

期　日：10月3日（土曜日）13時～御会式（曲題目は開催なし）
場　所：妙蓮寺（横浜市旭区善部町62）
交　通：相鉄線「二俣川駅」下車、バス15分、又は「希望が丘駅」下車、バス約5分
　　「善部第2」下車、約5分
内　容：御会式（おえしき）に奉納される稚児たちの綾取り芸。大人たちの唱える御題目（唄題目）に合わせ、1本または2本の綾バチを持ち、紙製の小太鼓を打ち、綾バチを曲取りします。綾取りを寺院の御会式の時に演ずるのは全国的にも珍しく貴重で、チャッキラコと並ぶ県内の代表的な童舞です。
　　本年も曲題目の開催はありません。お会式のみ10月3日(土)に行なわれます。
問合せ：妙蓮寺　℡045(391)0455

● 林神社祭礼

期　日：10月3日（土）14時～18時
場　所：林神社（厚木市林3丁目7-1）及び林地区内
交　通：本厚木駅北口、上飯山、宮ケ瀬、宮の里、王子行きバス「林」下車
内　容：昔から行われている林神社祭礼の際、14時から17時まで、御神輿とともに林地区内（約３ｋｍ）を太鼓を叩きながら渡御する。
　　また、17時30分からは、林神社境内において太鼓の演奏を行う。
問合せ：平野(太鼓世話人)　℡090(8341)7719

● 小向の獅子舞（C）

期　日：宵宮 10月3日（土曜日）小向会館　19時～、
　　例祭 10月4日（日曜日）八幡大神　10時～、小向会館　20時～
場　所：小向会館(川崎市幸区小向町17-2)、八幡大神（川崎市幸区小向西町3-28）
交　通：（小向会館）JR東海道線・京浜東北線・南武線「川崎駅」下車、川崎駅ラゾー

ナ広場82番乗り場より東急バス「川31系統、川32系統、川33系統」（高津駅、川崎営業所、市民ミュージアム行き）、「妙光寺前」下車、徒歩3分
（八幡大神）JR東海道線・京浜東北線・南武線「川崎駅」下車、川崎駅ラゾーナ広場82番乗り場より東急バス「川31系統、川32系統、川33系統」（高津駅、川崎営業所、市民ミュージアム行き）、「東芝前」下車、徒歩2分

内　容：一人立獅子舞。享保年間（1716～36）に、この地の旧家高橋七兵衛宅から出家した僧、顕妙院日義上人が伝えたといいます。当初は9月18日、19日の八幡大神（幸区小向）の例祭に舞われていました。後に8月第1日曜日に舞われるようになりましたが、近年の暑さを考慮して、現在は10月第１日曜日に変更して舞われています。
宵宮では、17時から練り込みといって行列が町内をめぐります。練り込みは大太鼓を載せた台車を子どもたちが引き、それに続いてささらを摺る少女が続き、榊を持ち三宝を持った長老・弓張提灯が続きます。途中、氏子の人々が三宝に賽銭を入れたりしますが、先導者は賽銭を出した人々を祓います。次に仲立2人、大獅子・女獅子・中獅子、笛数名、最後に弓張提灯の2人が付きます。練り込みでは「道行の曲」を奏します。囃子は大太鼓・笛・ささらで、獅子は胸に付けた羯鼓を打ちます。
舞は「いりはの舞」「岡崎の舞」奏があり、どちらかを舞います。獅子舞は、女獅子隠しで獅子は肘を張り、体を左右に動かし、手を激しく振り、中腰で浮き沈み、飛び跳ね、激しく舞います。三匹獅子舞に大太鼓が入るのは小向だけです。大きな筒竹の摺りささらをする少女は10人、唱は小唄と長唄があり、小唄の速いテンポに対して、長唄はゆったりとうたわれます。小学低学年の仲立ちから年配の唄まで住民が年齢に関係なく幅広く参加できます。大きな獅子頭、ゆったりと大きな立ち居振る舞いなど小向だけの特徴が多々あります。

問合せ：小向獅子舞保存委員会　℡090(3699)3946

● 初山の獅子舞（C）

期　日：①宵宮　10月3日（土曜日）初山会館　19時30分～
②本祭　10月4日（日曜日）菅生神社　14時～
※13時に初山会館を出発し、徒歩（20分程度）で菅生神社に向かいます。

場　所：①初山会館（川崎市宮前区初山2-9-1）
②菅生神社（川崎市宮前区菅生2-8-1）

交　通：①初山会館
東急田園都市線「溝の口駅」／JR「武蔵溝ノ口駅」南口より川崎市バス溝11系統「新百合丘駅前」行き・溝17系統「菅生車庫」行き・溝18系統「鷲ヶ峰営業所前」行き・「聖マリアンナ医科大学」行き「緑地（りょくち）」下車200m
②菅生神社
東急田園都市線「宮前平駅」、川崎市バス宮05系統「聖マリアンナ医科大学」行き「菅生中学校」下車すぐ
小田急線「向ケ丘遊園駅」、北口より小田急バス向11系統「あざみ野駅」行き「菅生中学校」下車すぐ

東急田園都市線「溝の口駅」／JR「武蔵溝ノ口駅」南口より川崎市バス溝11系統「新百合丘駅前」行き・溝17系統「菅生車庫」行き・溝18系統「鷲ヶ峰営業所前」行き・「聖マリアンナ医科大学」行き「蔵敷（ぞうしき）」下車500m

内　容：初山の獅子舞は江戸時代初期頃から行われていたと言われていますが、詳細は分かりません。第二次世界大戦で中断しましたが、現在の舞は、天狗面をつけた幣負いと、剣獅子・玉獅子・巻獅子の4人で、神社境内の直径5.4メートルほどの土俵の上で舞われます。最初に幣負い（天狗面）の土俵清めから始まります。続いて一同が道行の笛と共に登場し、金棒引き、幣負いが先頭に立ち獅子を先導する形で舞場に入り、金棒引きは土俵の両脇に立ちます。獅子舞は、岡崎・入端・渡り笛・変り笛などいろいろな囃子で舞い、中入（中休み）の後、後半で舞う雌獅子隠しは、獅子舞の見せ場になっています。初山の獅子舞は地を這うようにして舞うのが特色といわれています。

問合せ：初山獅子舞保存会　小金井睦雄　℡044(977)4541

● 新城の囃子曲持（Ｅ）

期　日：10月4日（日曜日）19時30分(予定)～

場　所：新城神社（川崎市中原区新城中町4-14）

交　通：JR南武線「武蔵新城駅」南口下車、徒歩約10分

内　容：毎年10月の第１日曜日に行われる新城神社の例大祭で奉納されます。神社境内で行われる奉納演芸の最後の演目として、19時30分から囃子曲持が出演します。演目は最初に壽獅子を舞い、次に力士による力持、曲持が披露されます。そして最後に紅白の投げ餅があります。

問合せ：新城郷土芸能囃子曲持保存会　千葉康史　℡044(766)0439

● 江戸上り行列

期　日：10月4日（日）

場　所：東海道かわさき宿交流館付近（神奈川県川崎市川崎区本町1-8-4）

交　通：JR川崎駅より徒歩10分、京急川崎駅より徒歩6分

内　容：江戸時代の琉球“外交使節”の路地楽の演奏と行列。
かつて琉球使節が立ち寄り、のちに沖縄出身者の移住によって伝統芸能が定着した「川崎宿」。絵画資料を手がかりに知恵と工夫で形にしていく「歴史ロマンの再現」として東海道史上初となる行列再現に挑み、川崎と沖縄を結ぶ文化歴史の架け橋と多文化共生の未来創出に貢献します。

問合せ：川崎江戸上り行列実行委員会　金城宏淳　Tel　090(3437)9509

● 第54回 茅ヶ崎市郷土芸能大会

期　日：10月4日（日曜日）　12時　開場／13時　開演（16時頃終了予定）

場　所：茅ヶ崎市民文化会館小ホール（茅ヶ崎市茅ヶ崎1-11-1）

交　通：JR東海道線「茅ケ崎駅」北口より徒歩8分

内　容：茅ヶ崎民俗芸能保存協会に所属する民俗芸能の保存会が一堂に会し行われる大会です。普段は各地区の祭礼等に赴かなければ見られない、茅ヶ崎に伝わる民

俗芸能の数々が、この日はステージ上で一挙に披露されます。事前申込不要（当日先着順）、入場無料です。大会の詳細は、随時茅ヶ崎市ホームページにアップしますのでご確認ください。

【出演予定団体】

圓藏祭囃子(E)、圓藏ばか踊り、柳島大漁船上げ唄、柳島エンコロ節(E)、柳島御座敷甚句、上赤羽根祭囃子、上赤羽根甚句、芹沢焼米搗唄(E)等、市内の各郷土芸能団体

問合せ：茅ヶ崎市教育委員会社会教育課文化財保護担当　℡0467(81)7226（直通）

茅ヶ崎市ホームページ

● 第54回いなりっこ発表会（E）

期　日：10月4日（日曜日）開演13時～16時30分（終演予定）

場　所：三浦市民ホール（うらり2階）

交　通：京浜急行「三崎口駅」より2番線バス乗場から城ケ島行き、通り矢行き、三崎港行きに乗り約20分、「三崎港」下車、徒歩約2分、横浜横須賀道路で衣笠インターから三浦縦貫道路終点を降り、国道134号で約25分三崎着（周辺に駐車場有り）

内　容：三浦三崎海南神社の「面神楽」（面をかぶり無言で演じる里神楽）の子ども版ともいえる「いなりっこ」を今年も、幼児から中学生の約20人の子ども達が日頃の練習の成果を発表します。演目は、国固め、種まき、湯立、天狐の舞、玉取り、恵比寿の舞の演目を予定しています。

問合せ：三浦海業公社（うらり）　℡046(881)6721

● 禰宜舞（E）

期　日：10月6日（火曜日）14時～　奉納は6日に固定

場　所：土橋神社（川崎市宮前区土橋1-10-22）

交　通：東急田園都市線「宮前平駅」下車、北口500m

内　容：川崎市重要習俗技芸である禰宜舞は宮前区平の白幡八幡大神の神職が舞います。

四方祓い（しほうはらい）（素面）・猿田彦命・天鈿女命（あめのうずめのみこと）・天児屋根命（あめのこやねのみこと）・彦火火出見命（ひこほほでみのみこと）・大山祇命（おおやまづみのみこと）の五座を面と装束を替え、締太鼓一つだけを伴奏に円を描くように舞われます。

問合せ：白幡八幡大神社務所　℡044(977)5639

● 小田原囃子（白山神社祭礼）（C）

期　日：10月10日（土曜日）～11日（日曜日）

場　所：白山神社周辺（小田原市扇町5-7-29）

交　通：伊豆箱根鉄道大雄山線「五百羅漢駅」下車、徒歩約5分
小田急線「足柄駅」下車、徒歩約5分

内　容：多古白山神社に伝わる小田原囃子は、文化交流が盛んだった江戸から伝わった

もので昭和44(1969)年に県の無形文化財（昭和51年県無形民俗文化財）に指定されています。
問合せ：小田原市文化部 文化財課　℡0465(33)1717

● 牛込の獅子舞（三頭獅子舞）（C）
期　日：10月10日（土曜日）宵宮15時　11日（日曜日）本祭
場　所：宵宮：牛込神明社（横浜市青葉区あざみ野）
本祭：驚神社（横浜市青葉区新石川）（おどろきじんじゃ）
交　通：東急田園都市線・横浜市営地下鉄「あざみ野駅」下車、約 10 分
内　容：関東・東北・信越地方に広く分布する一人立三頭獅子舞の横浜における代表的存在。締太鼓の枠打ちが多く、力強い所作が特徴です。丘陵を隔てた川崎市宮前区初山の獅子舞と芸態や歌詞もよく似ています。また、支度場所の獅子宿から神社までの往復の道行き、神前での舞があり、舞は「中入れ」をはさんで前後に分かれます。神明社の宵宮では舞いを、驚神社の本祭では道行きを含めての奉納を行います。
問合せ：横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課　℡045(671)3284

● 禰宜舞（E）
期　日：10月11日（日曜日）13時すぎ～　※例年10月第二日曜に実施
場　所：梶ヶ谷神明社（川崎市高津区梶ヶ谷4-13-6）
交　通：東急田園都市線「梶が谷駅」下車、東急バス「鷺沼駅」行きで3分「梶が谷五丁目」下車、600m、約7分
内　容：梶ヶ谷神明社の例祭で、川崎市重要習俗技芸である禰宜舞を宮前区平の白幡八幡大神の神職が舞います。
問合せ：白幡八幡大神社務所　℡044(977)5639

● 第49回 芸能発表会
期　日：10月11日（日曜日）開演13時～
場　所：仙石原文化センター（足柄下郡箱根町仙石原842）
交　通：JR東海道線・小田急線「小田原駅」または箱根登山鉄道「箱根湯本駅」より箱根登山バスＴ桃源台線「仙石原文化センター前」下車、箱根登山鉄道「強羅駅」より上記バス、またはタクシーにて約15分
内　容：子ども囃子、獅子舞、太鼓といった箱根町に古くから伝わる郷土芸能等を発表します。
問合せ：箱根町教育委員会 生涯学習課　℡0460(85)7601

● 太田和上の里 獅子舞、祭囃子
期　日：10月11日（日曜日）13時30分～14時00分
場　所：三浦正八幡宮（横須賀市太田和）
交　通：JR横須賀線「横須賀駅」、京浜急行「横須賀中央駅」下車､三崎行き、長井行きバス「武山」下車、徒歩約10分 太田和緑地、又は相武幼稚園の奥

内　容：※詳細はご確認ください。
太神楽系の二人立獅子舞です。獅子戯の「**いずかい**」では、獅子が座り込んで耳をかいたり、幕をかんだりして蚤をとるしぐさをします。調子のいい囃子謡や囃子詞で獅子をからかって怒り立たせます。獅子が御幣を持って舞う悪魔払いの舞「**幣の舞**」が一番のハイライトです。
問合せ：太田和上氏子青年 鈴木俊充　℡090(2240)1043

● 大谷八幡宮例大祭　大谷歌舞伎・海老名の祭囃子（大谷はやし連）（E）
※詳細はご確認下さい。
期　日：10月11日（日曜日）15時00分～
場　所：大谷八幡宮境内（海老名市大谷北2-5-15）
交　通：小田急小田原線・相鉄線・JR相模線「海老名駅」下車、相鉄バス綾31系統「厚木ナイロン経由 農大前」行き「大谷宿」下車徒歩5分
内　容：「大谷芸能保存会　歌舞伎部会」は昭和50年に「大谷歌舞伎」として海老名市重要無形**民俗**文化財に指定され、昭和58年には「かながわの民俗芸能五十選」にも選ばれました。
「海老名の祭囃子」は令和７年に海老名市重要無形民俗文化財に指定、保持団体として「海老名市はやし保存連絡協議会」を認定されました。保持団体に所属する「大谷はやし連」による演奏を披露します。
演　目：子ども歌舞伎　「白浪五人男」（16時30分～16時50分）
「絵本太功記十段目　尼ヶ崎閑居の場」（17時35分～18時45分）
大谷はやし連　（①15時40分～16時00分　②17時20分～17時35分）
問合せ：海老名市教育委員会教育部教育総務課文化財係　℡046(235)4925（直通）

● 豊受大神例大祭　海老名の祭囃子（杉久保はやし連）（E）
※詳細はご確認下さい。
期　日：10月11日（日曜日）　10時～20時30分
10月12日（月曜日・祝日）　10時～20時
場　所：豊受大神（海老名市杉久保2-22）
交　通：小田急小田原線・相鉄線・JR相模線「海老名駅」下車、相鉄バス綾23系統「農大前」行き「サンパルク650」下車徒歩５分
内　容：「海老名の祭囃子」は令和７年に海老名市重要無形民俗文化財に指定、保持団体として「海老名市はやし保存連絡協議会」を認定されました。保持団体に所属する「杉久保はやし連」による町内の巡行、演奏を披露します。
10 月 11 日　10 時～18 時まで山車にて町内を巡行
10 月 12 日　10 時～山車にて町内を巡行し、17 時 30 分前後に境内で演奏
問合せ：海老名市教育委員会教育部教育総務課文化財係　℡046(235)4925（直通）

● 第 35 回小田原ちょうちんまつり（小田原ちょうちん踊保存会による踊り）（E）
（小田原囃子連絡協議会による競演）（C）
期　日：10月12日（月曜日・祝日）12：00～20：00

場　所：小田原城址公園 二の丸広場・本丸広場（小田原市城内6-1）
　　小田原市観光交流センター にぎわい広場（小田原市本町1-7-50）
交　通：JR東海道線・小田急線「小田原駅」東口下車、徒歩約10分
内　容：小田原ちょうちんまつりは、歴史に名を残した「小田原ちょうちん」をシンボルとした市民参加型の地域イベントです。小田原城址公園では、オープニング音楽祭を始め、自治会みこしパレードや小田原ちょうちん踊り等を行い、小田原市観光交流センターにぎわい広場では、小田原祭囃子連絡協議会の17団体による小田原囃子競演会を開催します。
問合せ：小田原市観光協会　℡0465(20)4192

● 相模人形芝居 下中座　川崎市立日本民家園公演（A）
期　日：10月12日（月曜日・祝日）１部：12時30分～14時　2部：14時30分～16時
場　所：川崎市立日本民家園　旧工藤家住宅（川崎市多摩区枡形7-1-1）
交　通：小田急線「向ヶ丘遊園駅」下車　徒歩約13分
内　容：国指定重要文化財の旧工藤家住宅（曲屋）と国指定重要無形民俗文化財相模人形芝居下中座とのコラボレーションです。かつて地元でよく行われていた民家での人形浄瑠璃の再現として人気を集めています。今回の演目は、『一谷嫩軍記 熊谷陣屋の段（いちのたにふたばぐんき くまがいじんやのだん）』です。太夫は佐藤光昭、三味線は竹本土佐子です。人形の構造や遣い方の説明があります。
申込・定員・観覧料など詳しいことは日本民家園のウェブサイトなどでご確認ください。
問合せ：川崎市立日本民家園　℡044(922)2181
　　〒214-0032 川崎市多摩区枡形7-1-1　http://www.nihonminkaen.jp/

● 光明寺十夜法要
期　日：10月12日（月曜日・祝日）～14日（水曜日）
場　所：浄土宗大本山光明寺（鎌倉市材木座6-17-19）
交　通：JR横須賀線・江ノ電「鎌倉駅」よりバス小坪経由逗子駅行き「光明寺前」下車
内　容：「お十夜」として親しまれている光明寺十夜法要は、明応４年(1495)から五百年以上続けられています。光明寺の十夜法要は古式に従い、「**引声阿弥陀経**」と「**引声念仏**」によって行われます。お十夜の期間中には雅楽、稚児礼賛舞、双盤念仏、練行列などの行事と山門特別公開が行われます。また、お十夜の夜店は古くから知られており、当日は植木店や露店が立ち並び数多くの参詣者で賑わいます。なお現在、記念事業による本堂の改修工事が行われているため、行事の日程が短縮されます。各行事の正確な日程、開始時間等は法要が近くなりましたら、光明寺公式ホームページにてご確認下さい。
問合せ：浄土宗大本山光明寺　℡0467(22)0603

● 第24回 厚木市郷土芸能まつり「郷土芸能発表会」（C）（E）
期　日：10月18日(日曜日)開場13時 開演：13時30分　終演16時（予定）
場　所：厚木市文化会館(小ホール) 厚木市恩名1丁目9-20

交　通：小田急小田原線「本厚木」北口下車、徒歩13分。
内　容：厚木の伝統ある郷土芸能を受け継いだ市内の団体が、一堂に会して日頃の稽古の成果を発表します。
出演団体：愛甲ささら踊り盆唄保存会、長谷ささら踊り盆唄保存会、法雲寺酒井双盤講、相模里神楽垣澤社中(演目:「熊襲征伐」～英雄『日本武尊命』誕生の場～）、宮郷太鼓保存会
参加方法：申し込み不要。定員300人（先着順）無料。
問合せ：厚木市文化魅力創造課　℡046(225)2509

● 菊名の飴屋踊り（C）
期　日：10月23日（金曜日）開演19時～21時（終演予定）（雨天順延）
場　所：白山神社　菊名区民会館（旧菊名児童会館）前
交　通：京浜急行「三浦海岸駅」より2番線バス乗場から釼崎行き、釼崎経由三崎行きに乗り約10分「白山神社」下車、徒歩約3分
内　容：飴屋踊りは万作踊り、豊年踊り、おしゃらくなど他県によって様々な呼び名があります。演目は手踊り系とセリフのある段物系があります。平成元年を最後に地元で演じられなくなりましたが、平成20年に菊名の女性有志が保存会の指導のもと練習を重ね、白山神社への奉納が再開されました。
演目は、白松粉屋、新川、かきがら、笠松峠、細田の奴、子守などの演目が上演されます。演目により小学生、中学生が出演します。
なお、11月28日（土）日本青年館ホール（東京・神宮外苑）で開催される第73回全国民俗芸能大会に出演をします。
問合せ：菊名白山神社　　℡046(888)0758

● 第89回 沖縄芸能大会（C）
期　日：10月25日（日曜日）13時開場　開演13時30分～
場　所：カルッツかわさき（川崎市川崎区富士見1-1-4）
交　通：JR「川崎駅」東口下車、徒歩約15分
JR 川崎駅東口バスターミナルよりバス約5分
川崎市営バス（系統番号：川 04･川 05･川 07･川 10･川 13･川 15）
臨港バス（系統番号：川 02･川 03）
「カルッツかわさき・富士見公園」下車
内　容：琉球古典音楽の斉唱、古典舞踊、創作舞踊、雑踊り、沖縄民謡、器楽合奏など沖縄芸能全般の発表会です。
入場料は前売り1,000円、当日1,200円です。
問合せ：川崎沖縄芸能研究会　事務局　堀 浩　℡090(6954)9056

● 第55回 鎌倉郷土芸能大会（E）
期　日：10月25日（日曜日）11時～16時　開場は10時30分
場　所：鎌倉生涯学習センター（きらら鎌倉）ホール（鎌倉市小町1-10-5）
交　通：JR横須賀線・江ノ電「鎌倉駅」東口下車、徒歩約3分

内　容：鎌倉市郷土芸能保存協会との共催で毎年開催されます。本年は鎌倉市内のおはやし団体6団体、芸能団体3団体のほか、特別出演2団体の計11団体が出演します。出演団体は鎌倉鳶職組合木遣保存会、鎌倉神楽保存会、坂の下さざ波会、小袋谷囃子会、大船鎌倉囃子保存会、材木座囃子連中、鎌倉囃子山崎保存会、腰越天王囃子保存会、台祭囃子保存会です。また、特別出演として光明寺稚児舞、韓国から来日する北青獅子遊び保存会が上演します。

問合せ：鎌倉市教育委員会文化財部文化財課　℡0467(61)3857

● 白旗神社秋祭（湯立神楽）（Ｅ）

期　日：10月28日（水曜日）14時～

場　所：白旗神社（藤沢市藤沢2-4-7）

交　通：小田急線「藤沢本町駅」下車、徒歩約7分

内　容：白旗神社の秋祭で行わる12座の湯立神楽です。神職だけで行われる湯立てを伴う神楽で、「**湯花神楽**」「**鎌倉神楽**」などとも呼ばれます。笛・締太鼓・大胴で奏する楽に合わせて舞う「**初能**」や「**御幣招き**」、大釜の熱湯を御幣でかき回す「**掻湯**」や、笹に浸した熱湯を参列者に振りまく「**笹舞い**」、四隅と正面に弓を射る「**射祓**」などが奉納されます。また「**剣舞・毛止幾**」の演目では、参列者に菓子や餅などが撒かれます。白旗神社秋祭の湯立神楽（１２座の演目）では「**大散供**」のような二人舞があります。また演目中、初能や剣舞は必ず宮司が舞うという決まりがあります。神楽が終了すると、舞場となっていた「山」に付けられていた御幣、紙垂をお守りとして配布します。（雨天など、場合により変更があります。）

問合せ：白旗神社　℡0466(22)9210

〈１１月〉

● 第51回 南足柄市市民文化祭　［民俗芸能の発表］

期　日：11月1日（日曜日）

場　所：南足柄市文化会館（愛称：金太郎みらいホール）（南足柄市関本）

交　通：伊豆箱根鉄道大雄山線「大雄山」駅から徒歩約5分

内　容：市民文化祭の中の芸能大会で市の民俗芸能を披露します。

【演目・出演団体】

・相模人形芝居足柄座（Ｃ）：9時45分～10時10分

【演目】**「傾城阿波の鳴門　順礼歌の段」**　（けいせいあわのなると）

・足柄ささら踊（Ｂ）（Ｃ）：　10時10分～10時30分

・内山剣舞おどり（Ｄ）（Ｅ）：　13時30分～13時50分

・足柄ばやし（Ｅ）：　13時52分～14時12分

問合せ：南足柄市文化スポーツ課 ℡0465(74)2111（代）

● 室生神社の流鏑馬（Ｃ）

期　日：11月3日（火曜日・祝日）14時～

場　所：室生神社前馬場（山北町山北）

交　通：JR御殿場線「山北駅」下車、徒歩約10分
内　容：源氏再興の石橋山合戦で頼朝に敵対、領地没収・死罪となった河村義秀が、流鏑馬の妙技により許され、旧領復帰を記念して祭礼に行ったものが伝わっていると言われています。的は三本で、一の的（早稲）、二の的（中稲：なかて）、三の的（晩稲：おくて）の豊凶を占い、豊作を祈念します。騎射は先導の騎乗者が軍扇を上げて露払いをしながら走るのに続いて的を順に射ます。先導と射手が交替して数回行います。
※詳細は10月中頃に山北町ホームページに掲載されます。
問合せ：山北町教育委員会生涯学習課　℡0465(75)3649

● 相模里神楽垣澤社中・厚木市郷土芸能普及公演（Ｅ）
期　日：11月3日（火曜日/祝）14時30分～15時30分（予定）
場　所：相川公民館（厚木市下津古久703-2）℡046(228)3246
交　通：本厚木駅南口、平塚行き・田村車庫行きバス「愛坪」下車 徒歩約10分。
内　容：里神楽は、「古事記」や「日本書記」など、古代日本の神話を題材に、面を付け行われる仮面黙劇で、神代神楽とも呼ばれる神事芸能です。
【演目】初詣、御祝儀三舞　他
※演目の変更や時間の遅延もあります。
問合せ：厚木市文化魅力創造課　℡046(225)2509
団体問合せ：相模里神楽垣澤社中（代表）垣澤 ℡/Fax046(229)0485
E-mail:info@kakizawa-company.com　https://www.sagami-satokagura.com

● 第73回 箱根大名行列
期　日：11月3日（火曜日・祝日）
9時30分～（オープニングセレモニー）11時30分～（大名行列）（雨天中止）
場　所：旧物産館跡地・あじさい橋（9時30分～オープニングセレモニー）
ホテル南風荘（大名行列11時30分出発）⇒天成園⇒温泉場入口⇒国道1号⇒湯本大橋⇒湯本富士屋ホテル(14時50分頃)
交　通：箱根登山鉄道「箱根湯本駅」下車、徒歩約10分。
内　容：昭和10年(1935年)に湯本温泉郷で温泉博覧会が開催されたのを契機に始まった行事です。小田原藩11万3千石の格式にならった大名行列を箱根大名行列保存会を中心に200名ほどの隊列で演技をご披露しながら湯本地区を練り歩きます。
※内容の詳細についてはお問い合わせください。
問合せ：箱根湯本観光協会　℡0460(85)7751

● 入谷歌舞伎公演（Ｅ）（Ｆ）[市民芸術祭参加事業]
期　日：11月3日（火曜日・祝日）開演12時～16時（終演予定）※いずれも予定
場　所：ハーモニーホール座間 大ホール（座間市）
交　通：小田急線「相武台前駅」下車、徒歩約15分
内　容：入谷歌舞伎は、同地区の鈴鹿明神社の祭典の余興などとして親しまれ、江戸時

代後期から定着したとされています。地域住民が役者や裏方もこなし親から子へと伝えられていましたが、関東大震災や戦禍、後継者不足も重なって、途絶えがちになっていました。1964年に公演は、本格的に復活し、市の無形文化財に指定されたものの、住民の高齢化により約20年で公演は開かれなくなった。1996年に住民有志による「入谷歌舞伎会」（島村利明現会長）が結成され、公演が再び行われる様になり、市民芸術祭などで披露し郷土芸能を守っています。

【演目・出演団体】※詳細は問い合わせ下さい

問合せ：座間市教育委員会 教育部生涯学習課 文化財担当　℡046(252)8431

● 海南神社面神楽（E）

期　日：11月6日（金曜日） 11月7日（土曜日）開演18時頃～21時頃（終演予定）

場　所：海南神社神楽殿（三浦市三崎4-12-11）

交　通：京浜急行「三崎口駅」下車、2番線バス乗場から城ケ島行き、通り矢行き、三崎港行きに乗り約20分、「三崎港」下車、海南神社へは徒歩約3分

内　容：三崎海南神社に伝わる神楽は「神代神楽」とか「里神楽」という名で一般に呼ばれていますが、地元三崎では面をつけて舞い踊るので「面神楽」と称しています。11月の初未の日に湯立神楽をおこない、そして、翌日の申と翌々日の酉の日に「面神楽」を神社に奉納します。

演目には国固め、三人和合、恵比寿の舞、黒面、醜面、羅生門、大江山、千鳥、

湯立て、勘当場、大蛇退治、岩戸開きなどがあり、この中から10演目程度が演じられます。

問合せ：海南神社　℡046(881)3038

● 法蔵院の十夜法要

期　日：11月8日(日曜日)

場　所：法蔵院（横須賀市津久井1－12－5）

交　通：京浜急行「津久井浜駅」下車、徒歩約10分（近道あり）

法蔵院ホームページ

内　容：十夜法要は、浄土宗のお寺で行われる大切な行事で、三浦半島では横須賀市長井の不断寺、三浦市三崎の光念寺、そして、横須賀市津久井の法蔵院がよく知られています。

法蔵院では、毎年11月8日に横須賀や三浦の浄土宗の僧侶が一堂に会し、十夜法要を行います、法要では、鉦講中による「六字詰念仏」（双盤念仏）があり、初夜法要には、稚児・法蔵院詠唱出勤があります。また、8日は長い参道両側に植木市や露店が立ち並び参詣者や子ども達で大変な賑わいをみせます。

十夜法要日程

11月8日（日曜日）	15時	開白／日中法要
	18時	初夜法要（稚児・法蔵院詠唱出勤）
11月9日（月曜日）	9時	結願法要

問合せ：法蔵院　　℡046(848)0154

● 丸山稲荷社火焚祭（鎌倉神楽）（E）

期　日：11月8日（日曜日）　14時頃～
場　所：鶴岡八幡宮境内丸山稲荷社
交　通：JR横須賀線・江ノ電「鎌倉駅」下車、徒歩約10分
内　容：鶴岡八幡宮末社で古くからの地主神と言われる丸山稲荷社で五穀豊穣、無病息災を祈願して火焚祭が行われます。祭典終了後、稲荷社の境内で鎌倉時代から伝わるという由緒を持つ、鎌倉神楽が神職により奉納されます。
問合せ：鶴岡八幡宮　℡0467(22)0315

● 相模里神楽垣澤社中・厚木市郷土芸能普及公演（E）

期　日：11月8日（日曜日）9時45分～10時15分（予定）
場　所：緑ヶ丘公民館（厚木市緑ケ丘2-2-1）℡046(221)7556
交　通：本厚木駅北口2番線、緑ケ丘行き、緑ケ丘小学校前下車徒歩1分。
内　容：里神楽は、「古事記」や「日本書記」など、古代日本の神話を題材に、面を付け行われる仮面黙劇で、神代神楽とも呼ばれる神事芸能です。
【演目】寿式三番叟、他
※演目の変更や時間の遅延もあります。
問合せ：厚木市文化魅力創造課　℡046(225)2509
団体問合せ：相模里神楽垣澤社中（代表）垣澤 ℡/Fax046(229)0485
E-mail:info@kakizawa-company.com　https://www.sagami-satokagura.com

● 相模里神楽垣澤社中・厚木市郷土芸能普及公演（E）

期　日：11月8日（日曜日）11時00分～11時30分（予定）
場　所：小鮎公民館（厚木市飯山南1-46-5）℡046(241)1265
交　通：厚木バスセンター32番のりば 簗谷下行き、または厚木バスセンター46番のりば 「上分」行きで小鮎公民館前 下車徒歩1分。
内　容：里神楽は、「古事記」や「日本書記」など、古代日本の神話を題材に、面を付け行われる仮面黙劇で、神代神楽とも呼ばれる神事芸能です。
【演目】寿式三番叟、他
※演目の変更や時間の遅延もあります。
問合せ：厚木市文化魅力創造課　℡046(225)2509
団体問合せ：相模里神楽垣澤社中（代表）垣澤 ℡/Fax046(229)0485
E-mail:info@kakizawa-company.com　https://www.sagami-satokagura.com

● 小田原民俗芸能保存協会　後継者育成発表会

期　日：11月8日（日曜日）開場11時30分　開演12時～16時（終演予定）
場　所：小田原三の丸ホール大ホール（小田原市本町1-7-50）
交　通：JR東海道線・小田急線「小田原駅」東口下車、徒歩13分
内　容：小田原民俗芸能保存協会に所属する8団体が後継者育成事業の成果を発表する

会です。小学生・中学生も出演します。事前申込不要、入場無料です。今年は、
山北町のお峰入り、ODAWARAえっさホイおどりが特別公演します。
・小田原市山王原大漁木遣唄保存会（E）・小田原祭囃子連絡協議会
・根府川寺山神社鹿島踊保存会（C）・曽我別所寿獅子舞保存会（E）
・小田原ちょうちん踊保存会　・栢山田植歌保存会（映像出演）
・小田原囃子多古保存会（C）
・相模人形芝居下中座（A）、小田原市立橘中学校相模人形クラブ
・お峯入り保存会（A）
・ODAWARAえっさホイおどり実行委員会

問合せ：小田原市文化部文化財課　℡0465(33)1717
小田原民俗芸能保存協会実行委員会（磯﨑）℡090(7256)5609

● かながわ伝統文化こども歳時記

期　日：11月8日（日曜日）　11時～16時15分（予定）
場　所：神奈川県立青少年センター（横浜市西区紅葉ケ丘9-1）
交　通：JR線・横浜市営地下鉄「桜木町」下車、徒歩約10分、京急「日ノ出町」下車、徒歩約13分
内　容：各地の芸能をはじめ、四季折々の年中行事や生活文化、懐かしい昔遊びに至るまで、多彩な伝統文化の魅力をお楽しみいただけます。イベントのフィナーレではホール特設ステージで地元の民謡で盆踊りを踊ります。
出　演：太鼓・獅子舞、コマまわし、浮世絵、いけばな、着付け体験 他
生麦囃子保存会、片瀬こま保存会、UKIYO-E PROJECT、和食文化伝承会
西区文化協会、垣澤社中（相模里神楽）、宝井 琴鶴（講談）
藤髙りえ子（筑前琵琶）、泉秀樹・泉徳保（日本舞踊）
参加方法：申込み不要、入場無料。
※伝統芸能ワークショップ(講談・日本舞踊)は12月実施予定
参加費：各1,000円、要事前申込。
対象：小学3年生～中学生／2日間とも出席できる方
応募多数の場合には抽選。申込方法は神奈川県ホームページをご覧下さい。
問合せ：神奈川県立青少年センターホール運営課　℡045(263)4475

● 相模人形芝居 下中座 写真展とワークショップ（A）

期　日：11月14日（土曜日）～15日（日曜日）の各13時～16時
場　所：皆春荘（小田原市板橋852番地）
交　通：箱根登山鉄道・箱根板橋駅より北西へ徒歩10分に位置する邸宅
内　容：約110年前に建築された歴史的建造物（明治の元勲・山縣有朋の別邸）の主屋を借りて、国指定重要無形民俗文化財の相模人形芝居下中座が、公演の舞台や稽古風景を撮った写真展を開きます。また、同時に人形の構造や遣い方の説明をして、実際に人形に触れるワークショップも開催します。
申込・定員・入場料など詳しいことは　下中座事務局にご確認ください。

問合せ：下中座事務局　メール：newsletter@shimonaka-za.jp

● 第24回 厚木市郷土芸能まつり「相模人形芝居特別公演」（A）

期　日：11月15日（日曜日）開場：13時
　　開演：13時30分　終演：15時30分（予定）
場　所：厚木市文化会館(小ホール) 厚木市恩名1丁目9-20
交　通：小田急小田原線「本厚木」下車、徒歩13分
内　容：人形：相模人形芝居 林座
　　「絵本太閤記（尼ケ崎の段）」
　　人形：あつぎひがし座
　　「団子売」
　　人形：相模人形芝居 長谷座
　　「伽羅先代萩（政岡忠義の段）」
参加方法：申し込み不要。定員300人（先着順）。無料。
問合せ：厚木市文化魅力創造課　℡046(225)2509

● 小向の獅子舞　妙光寺　奉納舞（C）

期　日：11月15日（日曜日）11時30分～
場　所：妙光寺（川崎市幸区小向20－1）
交　通：JR・京浜急行「川崎駅」西口から川崎市バス川73系統「上平間」行き「妙光寺前」下車、すぐ
内　容：神奈川県重要無形民俗文化財である小向の獅子舞を伝えたといわれる僧、顕妙院日義上人の墓がある妙光寺で、11月の日曜日に舞が奉納されます。
問合せ：小向獅子舞保存委員会　℡090(3699)3946

● 第55回 鎌倉郷土芸能大会　祭ばやし大会

期　日：11月15日（日曜日）　11時～14時
場　所：鶴岡八幡宮境内源氏池畔
交　通：JR横須賀線・江ノ電「鎌倉駅」下車、徒歩約10分
内　容：鎌倉市内の祭ばやし保存団体が登場します。祭ばやし大会は例年、9月に開催されてきましたが、近年の9月は暑さが非常に厳しいため、出演者や観客の安全を配慮し11月の開催となりました。なお、9月時点での出演団体は未定です。
問合せ：鎌倉市教育委員会文化財部文化財課　℡0467(61)3857

● 第 37 回 横須賀民俗芸能大会

期　日：11月22日（日曜日）開演12時30分～16時（予定）
場　所：横須賀市文化会館大ホール（横須賀市深田台50番地）
交　通：京浜急行「横須賀中央駅」下車、西口改札を出て徒歩約10分、
　　又はJR横須賀線「横須賀駅」下車、京浜急行バス乗車約10分
　　「文化会館前」下車、徒歩約3分

内　容：市内各地に残る民俗芸能の公開と継承のために隔年で民俗芸能大会を行います。
出演団体：浦賀虎踊り保存会（B）（C）、太田和上氏子青年
川間町内会木遣り囃子保存会、佐島御船歌保存会（E）、下武囃子方保存会
長安寺六字詰念仏講中、長井町飴屋踊り保存会（E）、妙伝寺愛心会
若松社中
参加方法：申し込み不要、入場無料
問合せ：横須賀市教育委員会 生涯学習課文化財担当　℡046(822)8484

● 第50回 ひらつか民俗芸能まつり　（C）（E）
期　日：11月22日（日曜日）　12時30分開場／13時　開演（予定）
場　所：ひらしん平塚文化芸術ホール大ホール（平塚市見附町16-1）
交　通：JR東海道線「平塚駅」西口より徒歩約8分、又は神奈川中央交通「平塚文化芸術ホール前」から徒歩２分、「見附町」から徒歩４分。
内　容：平塚市内に伝わる民俗芸能の公演です。人形浄瑠璃芝居の部、囃子太鼓の部に分かれて上演します。
出演団体（演目順）：湘南座、相模人形芝居前鳥座（C）、大久保鼓友連・中久保交友会・北久保太鼓保存会、田村ばやし保存会（E）
参加方法：申し込み不要。無料。
問合せ：平塚市教育委員会社会教育課文化財保護担当　℡0463(35)8124

● 令和8年度 あやせ文化芸術祭 市民文化祭 伝統芸術部門
期　日：11月23日（月曜日・祝日）開演11時30分～15時30分

場　所：綾瀬市オーエンス文化会館大ホール（綾瀬市深谷中1丁目3番1号）
交　通：JR相模線・相鉄線・小田急線「海老名駅」から相鉄バス綾瀬市役所行き終点下車、徒歩約５分、小田急線「長後駅」から神奈中バス綾瀬市役所経由綾瀬車庫行き、文化センター前下車、相鉄線「さがみ野駅」から神奈中バス吉岡工業団地行き、文化センター前下車
内　容：伝統芸能部門では市内に伝承されているささら踊り、綾瀬音頭やお囃子等の民俗芸能や郷土の伝統的な民謡や舞踊を披露します。出演予定団体、発表時間等、詳細は生涯学習課へお問い合わせ下さい。
問合せ：綾瀬市役所 生涯学習課 市史文化財担当　℡0467(70)5637

● 相模里神楽垣澤社中（E）**プラネタリウム公演 「星降る神楽～道開き之章～」**
―女性神楽師によるプラネタリウム公演―
期　日：11月27日（金曜日）11月28日（土曜日）1日2回公演（詳細時間は後日公開）
※途中でのご入場はご遠慮ください。
場　所：神奈川工科大学厚木市子ども科学館 厚木シティプラザ７階(厚木市中町1-1-3)
℡046(224)9666
交　通：小田急小田原線「本厚木」東口駅下車、徒歩約2分。

内　容：里神楽は、「古事記」や「日本書記」など、古代日本の神話を題材に、面を付け行われる仮面黙劇で、神代神楽とも呼ばれる神事芸能です。今回、プラネタリウムでの全天周映像の演出と里神楽の実演をお楽しみ下さい。
【演目】天孫降臨、浮島の弁天さま
定　員：各回90名
入場料：有料（詳細は後日公開）
主　催：相模里神楽垣澤社中
後　援：詳細は後日公開
団体問合せ：相模里神楽垣澤社中（代表）垣澤 TEL/Fax046(229)0485
E-mail:info@kakizawa-company.com　https://www.sagami-satokagura.com

● 遊行寺一ツ火

期　日：11月27日（金曜日）17時より20時30分まで
場　所：時宗総本山清浄光寺（遊行寺）（藤沢市西富1-8-1）
交　通：JR東海道線・小田急線「藤沢駅」北口下車、徒歩約15分、又は「藤沢駅」北口からバス、原宿・戸塚方面行き「藤沢橋」下車すぐ
内　容：遊行寺最大の行事一ツ火(御滅灯)は、時宗の三法要の一つ「**歳末別時念仏会**（さいまつべつじねんぶつえ・期間は11月18日～28日）」の時に行われる特殊作法です。夜、堂内の灯火をすべて消し、暗闇の中で１回だけ火打石で火を切り、新しい火が灯されます。室内が明るくなるとともに修行僧が念仏の声を高めていきます。念仏は「**アミひきダはり念仏**」と言われる特別な節で唱えられます。冬至の太陽の復活を祈願する民俗行事とも関連すると考えられています。なお、見学には事前申込が必要です。申込方法の詳細は直接、お問い合わせになるか、遊行寺公式ホームページでご確認下さい。ホームページには行事の意味や内容も掲載されています。
問合せ：時宗総本山清浄光寺（遊行寺）TEL0466(22)2063

〈１２月〉

● カナガワ　リ・古典プロジェクト　in 大和

期　日：12月5日(土曜日)
場　所：やまと芸術文化ホール（大和市文化創造拠点シリウス、大和市大和南1-8-1）
交　通：小田急江ノ島線・相鉄本線　大和駅から徒歩3分
内　容：「カナガワ　リ・古典プロジェクト」は、地域にゆかりのある伝統文化を、時代に合わせた新しい発想で活用し、現代を生きる文化芸術として再(Re:リ)発信することで、伝統文化の持つ魅力・価値を再(Re:リ)発見する機会の創出を目指すプロジェクトです。
令和8年度は、県央地域の民俗芸能の披露、公演を行います。
詳細については、下記へ問い合わせください。
問合せ：かながわの伝統文化の継承と創造プロジェクト実行委員会事務局

（神奈川県文化課）　℡045(285)0220（直通）

● 第33回 藤野村歌舞伎公演（E）

期　日：12月5日（土曜日）開場14時　開演15時
　　6日（日曜日）開場12時　開演13時
場　所：県立藤野芸術の家クリエーションホール（相模原市緑区牧野4819）
交　通：JR中央本線「藤野駅」からバス「奥牧野・やまなみ温泉」5分 「藤野芸術の家」下車、徒歩1分
内　容：旧藤野町地域で明治初期頃から地芝居として、農家の人々によって演じられてきたと言われている村歌舞伎ですが、昭和40年神奈川県民俗芸能大会の公演を最後に上演されなくなっていました。平成4年に町民自らの手でよみがえらせ、以降、毎年公演会をしています。現在は、社会人・学生・主婦・子どもまで一丸となって稽古に励んでいます。今年で32回目となります。
・仮名手本忠臣蔵　七段目　一力茶屋の場
・子ども白浪五人男
入場無料・先着200名
問合せ：藤野芸術の家　℡042(689)3030

● 秋葉山火防祭（ひぶせまつり）

期　日：12月6日（日曜日）15時～20時（火渡り19時頃）
場　所：秋葉山量覚院（小田原市板橋）
交　通：箱根登山鉄道「箱根板橋駅」下車、徒歩約10分
内　容：修験者（山伏）による壮厳な儀式です。儀式は数々の修験道の秘術の連続で行われますが、最も有名な火渡りは、まず修験者により護摩が焚かれ、斧・剣・弓矢により魔を祓い、松明の火で梵字を描く火生の舞（かしょうのまい）と続き、最後に燃え崩れた護摩の火を渡るものです。山伏の渡った後には参拝者も火渡りが出来、無病息災などを祈ります。
問合せ：秋葉山量覚院　℡0465(22)6025

● 2026 きらめくふるさと かながわ民俗芸能祭

期　日：12月13日（日曜日）13時開場　開演13時30分～16時（終演予定）
場　所：はまぎんホール ヴィアマーレ（横浜銀行本店ビル1階）
交　通：みなとみらい線「みなとみらい駅」下車、徒歩約7分
　　JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町駅」下車、動く歩道利用約5分
出　演：土橋万作踊り保存会（川崎市）、長井町飴屋踊保存会（横須賀市）、菊名あめや踊り保存会（三浦市）、秦野ささら踊り保存会（秦野市、ビデオ）
申込み：会員で観覧希望の方は、往復葉書に住所、氏名、電話番号、人数（1名または2名）を記入して下記の申し込み先までお申し込み下さい。
詳しくは同封のチラシ及び観覧申込み方法をご覧ください。
申込先：　〒220-8611 横浜市西区みなとみらい 3-1-1
　　はまぎん財団「かながわ民俗芸能祭」係

締め切り：11月5日（木曜日）当日消印有効
入 場 料：無料
募集人員：20名（会員優先受付分、先着順）
※入場券の発送は11月中旬を予定しています。
※会場においてプログラムを無料で進呈いたします。
問合せ：神奈川県民俗芸能保存協会 **芸能祭実行委員会事務局**
℡ 042(785)0111(平本) e-mail：kirameku@kanagawa-mzg.jp
その他：記載された個人情報は本催事のみに使用し、厳正に取扱います。
会場での許可のない撮影、録音は固くお断りいたします。

● 相模人形芝居　下中座 秋葉山公演（A）
期　日：12月13日（日曜日）13時30分～15時30分
場　所：秋葉山量覚院（小田原市板橋）
交　通：箱根登山鉄道「箱根板橋駅」下車、徒歩約10分
内　容：国指定重要無形民俗文化財の相模人形芝居下中座が、人形浄瑠璃公演を行います。演目は、『一谷嫩軍記　熊谷陣屋の段』です。人形の構造や遣い方の説明があり、実際に人形に触れる体験もできます。入場は事前に申込が必要です。詳しくは、下記の問い合わせ先までお願いします。
問合せ：寺子屋倶楽部・会長　海老原　tel:090-8859-3302

● 御鎮座記念祭
期　日：12月16日（水曜日）17時頃より
場　所：鶴岡八幡宮（鎌倉市雪ノ下2-1-31）
交　通：JR横須賀線・江ノ電「鎌倉駅」下車、徒歩約10分
内　容：建久2年(1191)、鶴岡八幡宮が現在のような姿に整えられたことを記念して始められた祭典です。遷宮記念の祭典は建久2年11月21日と『吾妻鏡』に記録されており、暦を換算して現在の祭日となっています。記念祭では「宮人曲」を復元して、創建より八百年伝わる御神楽が奏されます。また、舞楽「人長の舞」も奉奏されます。
問合せ：鶴岡八幡宮　℡0467(22)0315

● 飯泉観音だるま市
期　日：12月17日(木曜日)10時～22時・18日（金曜日）9時～正午過ぎ頃
場　所：飯泉山勝福寺（小田原市飯泉）
交　通：JR東海道線・小田急線「小田原駅」から富士急湘南バスで「新松田」、「下曽我」駅行きバス「飯泉橋」下車、徒歩約10分（17日は交通規制により飯泉観音前バス停には停車しません）
内　容：伝承では永禄5年（1562年）から始まったとされ､江戸天保年間に編集された『新編相模国風土記稿』にも『歳の市』として記録されている年末恒例の行事です。関東では最も早く開催されるだるま市としても知られています。勝福寺周辺には露店が多く並び、家内安全や商売繁盛を願い、縁起物のだるまを求め

る参詣者でにぎわいます。
※詳細についてはお問い合わせください。
問合せ：飯泉山勝福寺　℡0465(47)3413

● 一之宮のだるま市

期　日：12月28日（月曜日）　午後～夜
場　所：高座郡寒川町一之宮　南泉寺前の通り
（寒川十字路北の和菓子屋「豊月堂」脇～北町集会所にかけて）
交　通：JR相模線「寒川駅」下車、徒歩8分
内　容：路上にだるま・正月飾り・神棚を売る店が並びます。正月に向けての準備をする為の歳の市です。他にも植木屋・食品関係の露店も出ます。なお、年の瀬を迎えるこの時期は茅ヶ崎市内・平塚市内でも連日だるま市が開かれます。寒川町一之宮以外では、23日に平塚市須賀三嶋神社、25日は平塚八幡宮、26日は平塚市田村八坂神社、前日27日には茅ヶ崎市十間坂の第六天神社、平塚市豊田で、翌日29日に平塚市本宿、金目、30日は平塚市大久保公園で行われます。
問合せ：寒川町観光協会　℡0467(75)9051